



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月8日

上場会社名 世紀東急工業株式会社
 コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 川野 隆紀

TEL 03- 6672- 9421

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	61,342	3.5	2,870	38.0	2,853	37.1	2,039	41.2
2021年3月期第3四半期	59,292	16.4	4,631	45.3	4,538	42.2	3,470	15.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,162百万円 (38.6%) 2021年3月期第3四半期 3,524百万円 (16.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	51.84	
2021年3月期第3四半期	86.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	73,186	39,283	53.7	1,028.84
2021年3月期	79,409	40,790	51.4	1,010.99

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 39,283百万円 2021年3月期 40,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		43.00	43.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,800	3.6	4,600	45.7	4,500	46.4	3,300	36.3	86.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	40,414,407 株	2021年3月期	40,414,407 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,232,386 株	2021年3月期	67,641 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	39,341,317 株	2021年3月期3Q	40,326,002 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△2.0	4,200	△47.2	3,100	△35.2	81.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、いまだ収束の見通しが立たないなか、総じて厳しい状況となりました。

道路建設業界におきましては、政府による「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の推進等により、公共投資は底堅く推移したものの、アスファルトをはじめとする原材料価格が騰勢を強めるなど、依然として予断を許さない事業環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、2021年5月に策定した「2030年のあるべき姿」を示す長期ビジョンおよび「中期経営計画（2021-2023年度）」に基づき、本業のさらなる競争力強化による安定収益の拡大に努めるとともに、将来のどのような環境変化にも対応できる「真に強靱な企業グループへ」と進化を遂げるべく、各種施策を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高（製品売上高および不動産事業等売上高を含む）は591億86百万円（前年同期比10.6%減）、売上高は613億42百万円（前年同期比3.5%増）となりました。また、損益面につきましては、原油価格高騰の影響などにより経常利益は28億53百万円（前年同期比37.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億39百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し62億22百万円減少の731億86百万円となりました。売上債権や未成工事支出金が減少したことなどにより流動資産は59億72百万円の減少となり、また、固定資産は2億50百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し47億15百万円減少の339億3百万円となりました。工事未払金や未払法人税等が減少したことなどにより流動負債は43億88百万円の減少となり、また、退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は3億26百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益20億39百万円を計上しましたが、期末配当金の支払や自己株式の取得などにより、前連結会計年度末と比較し15億7百万円減少の392億83百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の経営成績等を勘案して前回（2021年11月8日）公表の予想数値を修正しており、通期の連結業績につきましては、売上高868億円、営業利益46億円、経常利益45億円、親会社株主に帰属する当期純利益33億円をそれぞれ見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,035	14,986
受取手形・完成工事未収入金等	34,150	28,372
未成工事支出金	2,565	477
材料貯蔵品	386	325
その他	2,683	3,697
貸倒引当金	-	△9
流動資産合計	53,821	47,848
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,220	9,418
機械、運搬具及び工具器具備品	20,681	21,156
土地	14,327	14,314
建設仮勘定	245	707
減価償却累計額	△20,820	△21,764
有形固定資産合計	23,655	23,831
無形固定資産	263	253
投資その他の資産		
その他	1,669	1,252
投資その他の資産合計	1,669	1,252
固定資産合計	25,588	25,337
資産合計	79,409	73,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,767	20,604
短期借入金	7	104
未払法人税等	1,147	2
未成工事受入金	2,070	1,255
完成工事補償引当金	15	16
工事損失引当金	7	15
賞与引当金	1,645	744
その他	4,216	3,745
流動負債合計	30,877	26,488
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
退職給付に係る負債	2,597	2,289
その他	144	125
固定負債合計	7,742	7,415
負債合計	38,619	33,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	519	521
利益剰余金	38,767	38,982
自己株式	△40	△1,888
株主資本合計	41,246	39,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	15
為替換算調整勘定	△15	△8
退職給付に係る調整累計額	△461	△340
その他の包括利益累計額合計	△455	△332
純資産合計	40,790	39,283
負債純資産合計	79,409	73,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	59,292	61,342
売上原価	50,464	54,241
売上総利益	8,827	7,101
販売費及び一般管理費	4,196	4,230
営業利益	4,631	2,870
営業外収益		
受取配当金	4	4
受取賃貸料	18	14
業務委託料	11	-
雑収入	36	30
営業外収益合計	70	48
営業外費用		
支払利息	2	28
支払保証料	29	20
シンジケートローン組成費用	96	-
雑支出	34	17
営業外費用合計	163	65
経常利益	4,538	2,853
特別利益		
固定資産売却益	88	20
投資有価証券売却益	0	-
受取補償金	-	77
退職給付引当金戻入額	-	0
特別利益合計	88	98
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	11	6
固定資産解体費用	-	30
関係会社株式売却損	-	4
減損損失	576	-
特別損失合計	590	41
税金等調整前四半期純利益	4,036	2,910
法人税等	566	871
四半期純利益	3,470	2,039
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,470	2,039

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,470	2,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△5
為替換算調整勘定	△122	7
退職給付に係る調整額	171	121
その他の包括利益合計	54	123
四半期包括利益	3,524	2,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,524	2,162
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、収益の認識について主に次の変更が生じております。

工事契約に係る収益認識

従来は工事の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には工事進行基準を、進捗度を見込むことができない工事については工事完成基準を適用しておりましたが、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、工事の総原価見積額に対する各報告期間の期末日までの発生原価の割合に基づいて行っております。また、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができない工事契約について、発生する原価を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が3,442百万円、売上原価が3,580百万円それぞれ増加しております。なお、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
	金額	増減率
2022年3月期第3四半期	56,101百万円	△9.9%
2021年3月期第3四半期	62,236百万円	17.1%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区 分		前第3四半期 (2021年3月期 第3四半期)		当第3四半期 (2022年3月期 第3四半期)		増 減		前 期 (2021年3月期)	
		金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%
		受注高	建設部門						
国内官公庁	19,899		32.0	14,333	25.5	△5,566	△28.0	30,797	36.3
国内民間	30,567		49.1	30,460	54.3	△106	△0.3	38,014	44.9
計	50,467		81.1	44,793	79.8	△5,673	△11.2	68,812	81.2
製品部門等	11,769		18.9	11,307	20.2	△461	△3.9	15,935	18.8
	合 計	62,236	100.0	56,101	100.0	△6,135	△9.9	84,747	100.0